

## 平成29年度九州ブロック協議会 研修部担当者会同協議記録

日時：平成29年10月21日、22日

場所：城山観光ホテル カトレア

鹿児島県鹿児島市 新照院町41番1号

記録者： 座長 長崎会 松本忠寿

### 出席者名簿（17名）

福岡	たけい としゆき 武井 俊幸	研修部長
佐賀	とみよし かずお 富吉 一男	常任理事・研修部長
	ふじた としいち 藤田 寿一	理事・研修担当
長崎	まつもと ただひさ 松本 忠寿	研修部長
	みね しょうへい 峰 昇平	研修部次長
大分	かわい たつや 川合 達也	研修部長
	み たい つとむ 三田井 勉	研修部次長
熊本	しまさき けいいち 嶋崎 恵一	業務研修部理事
	すぎしま じんや 杉島 仁弥	業務研修部委員
鹿児島	いけだ なりと 池田 成人	研修部長
	かみこづる かずよし 上小鶴 一善	研修部理事
	またき ひでゆき 又木 秀幸	研修部理事
宮崎	なかむら ひとし 中村 仁司	研修部長
	しまだ よしひさ 嶋田 賀久	副会長
沖縄	ひが ていぜん 比嘉 定善	副会長
	たいら まさと 平良 正人	研修部長
	なか はるお 名嘉 治男	研修部理事

## 《研修部総括》

研修担当者会同（研修部）では、各単位会より合計 21 の議題とその提案理由を事前に提出していただき、全ての議題について各会から事前回答をいただいた上で会同当日に協議を行った。

各議題の一覧と各議題の協議経過及びまとめについては次ページ以降の通りである。その上で、研修部担当者会同としての共通の問題として以下 2 項目を確認した。この問題は、後日九州ブロック協議会会長会議で取り上げていただき、日調連への対策を要望する等の対応を検討していただきたい。

### 1、研修インフォメーション入力作業の改善についての要望

研修に関する情報の共有化についてこれまで何度も議題として取り上げられており、今回も研修内容、講師、評価等の方法をなるべく共有したいとの意見が寄せられた。しかし個人情報等の問題も含まれることから、現在日調連で取り組まれている「研修インフォメーション」の登録を不断なく行いこれらの情報から必要とする個別の詳細情報を引き出すように九州ブロックとして続けていくことを確認した。しかし、現在の研修インフォメーションの管理画面での研修情報入力過程では、全体の編集が行われる仕様となっており、入力の方法が正しく行われているかの判断や、他会の情報まで誤って削除してしまうおそれがあることから、操作を躊躇してしまうこともあるようなので、改善策を要望する。

### 2、CPDポイントの管理についてコードの簡略化についての要望

今年度より単位会で行われていたCPDポイントの公開を日調連のウェブサイトへ移行することとなった。これは、eラーニングでの視聴をポイント管理するため日調連での検討結果であると認識している。現在九州ブロックの 2/8 会が移行未了（全国では 12/50 会が移行未了）であることからその理由が分析された。「土地家屋調査士専門職能継続学習認定基準表」に基づくコードが詳細すぎることから、特に自己申告分が多くなる会ほど管理不全に陥ることになり、日調連ウェブサイトへの移行ができなくなるという現象が起きている。専門職能の継続学習とその公開がこの制度の本質であるにも関わらず本末転倒な結果になっている。

一方、日調連のウェブサイトでの公開は①参加学習型②自己学習型③情報提供型の三類型のみである。公開が今後もこの三類型であるのであれば、基準表を含めた管理のルールを簡略化する等の検討をしていただきたい。しかし現在の基準表を今後も継続していくのであれば、単位会でより一層ポイント管理がし易いツールや手法を提供していただきたいと要望する。

## 研修部担当者会同議題一覧表

番号	議題（提案者）	提案理由
1	研修部における今年度の主な事業計画をご報告下さい（座長）	各会の事業計画とその執行計画を確認し、業務を執行する上で力を入れている部分やその要点等を聞くことにより、今後の事業に役立てたいため。
2	役員等を対象とした研修会の開催について（長崎会）	長崎会では、役員改選の度に平均年齢及び従事年数が大幅に若返っているため、役員や部員、委員を対象とした研修会の企画を検討しています。そこで貴会では、①そのような研修会の企画を行われていますか？②過去に行われた場合、どのような効果や問題点がありましたか？
3	WEB研修会等で経験したトラブルとその対処、改善点について（長崎会）	長崎会では、四年ほど前から離島支部への対応としてWEB研修会を行っています。会場や会場施設・機材等のハード面、アプリケーション等のソフト面と、それを操作する担当者のレベルなど、これまでのトラブルとその対処で経験したことを共有し、今後の質の向上に役立てたいと思います。
4	筆界調査員の集合研修等について各会の実績はありますか？（佐賀会）	筆界特定登記官より、調査員の集合研修や情報交換はしていないのかとの話があり、必要性を感じたため。
5	研修会のテーマの選定はどのように決めているか（鹿児島会）	研修会への参加状況が思わしくない。実務に直結しないと思われる内容のコマになると出席者が目立つ。
6	連合会CPD情報公開に伴う県会CPDデータの移行について（鹿児島会）	鹿児島会は今年度の移行はできない。理由として移行作業に相当のマ manpowerが必要で予算組みがしていない。また現在のCPDは研修内容で分類されていない。カードリーダーで研修内容を分類するにはコマごとの読み取りが必要でまず不可能と思われる。
7	各会で最近おこなった研修で、ためになった研修、人気のあった研修、評判のよかった講師などおしえてほしい（熊本会）	研修内容をもっと充実したものとしたいため
8	研修内容の情報共有の方法を具体的に考えてほしい（熊本会）	去年も協議案に上がっているが、活発に活用されていないようにおもわれるため
9	CPDポイントの活用方法（熊本会）	これも長年協議案に上がっているが、有効な活用方法がない。CPDのポイント管理が各会負担になっていないでしょうか 将来的にも利用できないようであれば、CPDポイントの廃止を九州ブロックとして提案できないだろうか
10	過去行った研修会のテーマ、今後予定しているテーマ（宮崎会）	毎回、研修テーマに苦慮している。他県の業務に関する問題点など参考にしたい。
11	ADR認定調査士に対する研修はどのようにしているか（宮崎会）	特別研修を受け認定を受けたものの、活用機会がなく勉強したことを忘れないための方策は？

1 2	他会において実施されている研修会（全体研修会・有料研修会）の有料配信について協議ください。（福岡会）	他会よりご案内がある研修会について動画により受講できないか会員より要望があります。
1 3	研修会に開催に関して講師・内容について大変苦慮しております。他会においてどのように検討し、決定されているのかお伺いしたい。（福岡会）	研修会に開催に関して講師・内容について大変苦慮しております。
1 4	補助者研修の実施について（沖縄会）	本職と補助者の業務分掌
1 5	日常業務における実務の研修（沖縄会）	約 10 名で単位のグループを作り、日常業務における処理方法、実務体験等のディスカッションを行う。
1 6	日常業務における実務（地図の取扱い・基準点等）（沖縄会）	<p>国土調査完了地区で地籍図（原図）から現在のデジタル地図を法務局で作製しましたが筆界線が一致しない個所が多々あります。各会においてマイラー原図の閲覧、また研修会等で指導しているかご教示をお願いします。</p> <p>日本測地系から世界測地系への変革に伴い国土調査時の測量結果と、同じ地点の近年の測量結果を比較すると「ずれ」が生じます。各会において「ずれ」についての研修会等を開催しているか、また開催している会がありましたら資料等の提供よろしくをお願いします。</p>
1 7	土地家屋調査士専門職能継続学習認定基準表の自己申告分の対応について（大分会）	認定基準表は平成 23 年 4 月 1 日から適応されていますが、当会では会員からの自己申告がなく、周知自体が不十分ではと思っています。他県会での対応方法や付与の判断等をご教示願います。
1 8	全体研修会の資料（レジュメ）について（大分会）	当会では、研修会資料を出席者に無料配布していますが、経費削減のため当会でもホームページやメール等でデータ配布の方法を取りたいと思っています。他県会での配布の方法や問題点及びメリット、資料の購入者の人数等を参考にしたいのでご教示願います。
1 9	研修インフォメーションの対応について（大分会）	次回から対応していきたいと思っています。他県会での対応や入力する際の注意点等ありましたらご教示願います。
2 0	研修会欠席者への対応について（佐賀会）	平成 26 年度末の注意文の発送後、数名より以後の研修会へは出席するよう努力する旨の電話が事務局にありましたが、改善が見られない会員への指導について参考にするため各会の状況をお聞かせいただきたい。
2 1	境界鑑定についての研修・研究等について（佐賀会）	当会では業務部の事業計画項目になっていますが、各会の状況についてお聞かせいただき研修・研究の参考にしたい。

《報告事項》

1	研修部における今年度の主な事業計画をご報告下さい
まとめ	九州ブロック各会の事業計画と重点項目として捉えている要点のコメントを聞くことで各会研修部の方針を確認することができ、今後それぞれが単位会へ持ち帰り研修事業等へのフィードバックに繋げることができたと考える。
提案理由	各会の事業計画とその執行計画を確認し、業務を執行する上で力を入れている部分やその要点等を聞くことにより、今後の事業に役立てたいため。
福岡会	<p>1、全体研修会          北部・中央・南部において、メイン会場及びサブ会場2ヶ所を設置し、メイン会場は持ち回りとする。また、支部会場での開催を希望する支部については、機器接続等の支援を行う。  <u>コメント</u> メイン会場1ヶ所、サブ会場2カ所、支部単位でも約半数（7～8）の支部をWeb会議システムにて接続し実施しています。  <u>資料配布</u> 基本HPにUP 希望者 メイン・サブに来られる会員 資料代500円</p> <p>2、専門研修会          有料研修会として3回開催する。  <u>コメント</u> 受講者 最大40名 受講料 1会員 3,000円</p> <p>3、支部研修会          全体研修会で周知出来ない細部事項や全会員が業務を行う上で必要な事項等の伝達を支部研修会で補って頂けるようお願いするとともに講師の派遣を行う。なお、実施した支部に対し、参加者1名につき1,000円の補助金を交付する（支払時期は年度末とする）。但し、交付回数は1回とし、会場費については支給しない。</p> <p>4、新入会員研修会          平成27年1月以降に入会し、本会主催の新入会員研修会を未だ受講していない会員を対象に、専門家として求められている資質と姿勢、実務を行う上で知っておかなければならない事項及び新入会員が間違いを犯しやすい事項等について周知を図ることを目的として研修会を開催する。</p> <p>5、新人実務体験研修          土地家屋調査士の有資格者と土地家屋調査士登録後2年以内の新人を対象として、講師事務所に配属し有料研修として実施する。受け入れ講師については、講師候補者が所属する支部から推薦された者から選考する。研修期間は、2週間以上3ヶ月程度とし、受入れ講師と新人の実情に合わせて期間を決定する。</p> <p>6、補助者研修会等          補助者の資質向上を図るため、補助者として気を付けなければならない倫理や職務上請求書の取扱い等について、有料研修として実施する。また、補助者研修会への積極的な参加を推進するために、補助者規程中、研修に関する規程の見直しを総務部と連携して検討する。  <u>コメント</u> 現在、補助者規定の変更を検討中</p> <p>7、土地家屋調査士専門職能継続学習（土地家屋調査士CPD）制度への対応          専門資格者として、業務遂行のための専門知識と技術の維持・向上を図る為、専門職能継続学習（土地家屋調査士CPD）の機会を会員に保証することが求められているとともに会員</p>

	<p>は積極的にポイントを取得することを求められている。参加しやすい研修会の開催を企画するとともに積極的に参加する研修会の開催を検討することにより、土地家屋調査士CPD制度に対応するものとする。なお、取得ポイントについては連合会及び県会広報部と連携し、会員ごとに連合会及び県会ホームページで公開する。</p>
佐賀会	<p>1、高度な専門家集団となるため、CPD制度の趣旨に基づいた全体研修会を年3回以上実施する。</p> <p><u>コメント 平成29年度全体研修会(全4回) 連合会より5年間における目標のCPDが80単位とされているため年間16単位程度の取得機会を会員へ提供するため及び、受講機会が得られるよう4回企画した。</u></p> <p>第1回平成29年7月10日(月)13:00~17:00  第2回平成29年9月30日(土)10:00~17:00  第3回平成29年11月25日(土)10:00~17:00(予定)  第4回平成30年2月7日(水)13:00~16:30(予定)</p> <p>2、連合会及び他会の研修会に、積極的に出席するように要請する。  3、九州ブロック協議会の研修会への出席を促す。  4、ビデオライブラリーの構築に努める。</p>
長崎会	<p>1、研修会の実施(3回)  2、日調連、他県会、他団体主催の研修会の案内と参加支援  3、日調連主催の土地家屋調査士特別研修への対応  4、九州ブロック協議会への対応  5、CPD制度への対応  6、web研修への対応</p> <p><u>コメント 連合会の事業計画に関連するような事業のあり方を考えています。</u></p>
大分会	<p>1、研修会の企画・開催</p> <p>①全体研修会の企画・開催</p> <p><u>コメント 年3回を予定しておりCPD制度の趣旨を勘案しながら決定しています。</u></p> <p>②支部研修会の開催</p> <p><u>コメント 年度内に2回以上各支部で行ってもらっています。本年度は本部主導分として「個人情報保護法」の提供をしています。</u></p> <p>③課題別の研修会等の企画・開催</p> <p><u>コメント 業務部と連携して行っていく予定です。</u></p> <p>2、研修に対する情報公開及び管理</p> <p>①CPDポイントの管理・公開</p> <p><u>コメント 日調連のホームページで公開が開始されており、当会での公開の規則及び公開方法も含めて見直しを行う予定です。</u></p> <p>②研修時間の管理・公開</p> <p><u>コメント 当会のホームページにて全会員の過去2年間の参加状況として、全体研修会への参加した時間を公開しています。</u></p> <p>3、各種研修会の参加</p> <p>①日調連及び九州ブロックが行う研修会等への参加及び参加者の募集</p>

<p>熊本会</p>	<p>1、CPD研修会の開催</p> <p>第1回CPD研修会 開催日 平成29年7月21日</p> <p>第2回CPD研修会 開催日 平成29年9月 8日</p> <p>第3回CPD研修会 開催日 平成29年11月 開催予定</p> <p>第4回CPD研修会 開催日 平成30年 2月 開催予定</p> <p>2、新人研修会</p> <p>開催日 平成30年 2月 開催予定</p> <p>3、熊本大学での出前講座</p> <p>平成29年10月から2月中の3講座を担当</p> <p><u>コメント 会員が望んでいるまた、会員の為になる研修内容を選定し、多くの会員が研修に参加できる環境を提供すること。</u></p>
<p>宮崎会</p>	<p>1、研修会の実施を例年3回実施しているが、今年度は4回を計画している。</p> <p><u>コメント 土地家屋調査士の業務遂行に必要な専門知識と技術の維持向上を図っていくうえで今まで通りだと時間（1回に3時間を年間3回）が少ないのではと意見要望もあり増やしたいと考えている。</u></p> <p>2、CPDポイントの連合会HPでの公開に向けての準備</p> <p><u>コメント 宮崎会では事前アンケートにより公開に同意しない会員のものは、公開しないようにします。</u></p> <p>3、新人研修の中央研修に向けて本県の対応</p> <p><u>コメント 将来、ブロック研修も中央方式に移行するらしいので地域慣習等（お客様対応、測量基礎知識、隣接ブロック、田畑の畦畔、報酬額等）の研修会を検討</u></p>
<p>鹿児島会</p>	<p>1 会員研修会、公開講演会の実施及び支部研修会等の支援</p> <p><u>コメント 3回の会員研修会の開催を計画しています。また、支部研修会等への講師の派遣を行います。</u></p> <p>2 産官学連携による研修会や出前講座等の実施及び支援</p> <p><u>コメント 昨年同様 ロイヤリングセミナーへの参加と、鹿児島刑務所での測量講座を実施します。</u></p> <p>3 インターンシップ制度の構築</p> <p><u>コメント 新しく入会される方へのフォローの重要性から本年度、制度を構築したいと考えています。</u></p> <p>4 特別研修の受講推進</p> <p><u>コメント 連合会からの実施要項に注視し、受講を推進したい</u></p> <p>5 土地家屋調査士専門技能持続学習（CPD）制度の運用</p> <p><u>コメント 引き続きCPDの運用をします。</u></p>
<p>沖縄会</p>	<p>1、研修計画に関する事項</p> <p>①業務の質の向上に活かせる研修を計画する。</p> <p>②各委員会、各部との連携を深めて研修内容の充実を図る。</p> <p>③研修会の資料等を保管・公開する。</p> <p>2、九州ブロックへの対応 担当者会同への対応</p> <p>3、日調連への対応 CPD獲得ポイントを集計し日調連へ報告する。</p>

	4、CPD 獲得ポイントの情報公開について ホームページ上で公開する。
--	-------------------------------------

《協議事項》

2	役員等を対象とした研修会の開催について（長崎会）
まとめ	役員等を対象とした研修会の実施は各会されていませんが、研修会という形ではなくとも引継ぎを充実させることで、今回開催された担当者会同等の協議事項というものを毎年同様な内容からさらに一歩進んだ意見交換ができるのではないかと思います。
提案理由	長崎会では、役員改選の度に平均年齢及び従事年数が大幅に若返っているため、役員や部員、委員を対象とした研修会の企画を検討しています。そこで貴会では、①そのような研修会の企画を行われていますか？②過去に行われた場合、どのような効果や問題点がありましたか？
福岡会	実施していない。
佐賀会	①②ともありません。今回の会議により必要性を検討したいと思います。
長崎会	これまで、境界鑑定委員会やADRセンターの関係では行ったことはありますが、本会役員等を対象とした研修会については（知る限りでは）行われたことはないと思います。会議の際の心構えや日頃の準備等テーマを絞って開催できればと考えています。
大分会	実施していません。
熊本会	筆界特定調査員やADR 関与者向けの研修は行っていますが、本会役員向けの研修会は行っていません
宮崎会	今年度より当会顧問の新井先生にお願いして、役員を対象とした勉強会を2回実施しております。今後も継続する予定です。
鹿児島会	実施していない。
沖縄会	実施してません又、研修予定もありません。

《協議事項》

3	WEB研修会等で経験したトラブルとその対処、改善点について（長崎会）
まとめ	WEB研修会導入は各会において状況は様々ですが、今後の研修会のあり方として導入していく必要性もでてくるのではないのでしょうか。その中で、WEB研修会を導入している会においては、問題点をクリアにしスムーズな運営ができる環境を作ることその手法がマニュアル化されWEB研修会の推進にも繋がっていくのではないかと思います。
提案理由	長崎会では、四年ほど前から離島支部への対応としてWEB研修会を行っています。会場や会場施設・機材等のハード面、アプリケーション等のソフト面と、それを操作する担当者のレベルなど、これまでのトラブルとその対処で経験したことを共有し、今後の質の向上に役



	立てたいと思います。
福岡会	ハード面・ソフト面とトラブルに大変苦慮している。
佐賀会	Web研修会は行っておらず、計画もありません。
長崎会	1, 環境（会場、設備）の問題（本会場 100 名から 150 名） 公的施設には、高速インターネットを利用できる施設がない。施設管理者への要望を行っている。駐車場、利用料、移動時間 2, アプリケーションの問題 専用アプリ（Cisco WebEx Meeting Center）を購入して利用するようになったが、その使用方法を理解するには時間と専門性の知識を必要とする。 3, 研修の進め方の問題 アプリとの関連性がある。資料、会場の様子、講師の様子、サテライト会場の様子等をそれぞれスムーズに切替えて進めることが難しいと感じている。
大分会	WEB研修会は行っていません。
熊本会	貴会の回答を記載下さい
宮崎会	Web研修会は行っておりません。
鹿児島会	WEB研修、断念。インターネット設備が整っていないため、又、離島の方も画像・音声も悪いため。動画撮影し、DVDで配布し、レポートを提出してもらっている。
沖縄会	Webシステムを構築していません。当会も離島支部を抱えていますので検討したいと思います。

《協議事項》

4	筆界調査員の集合研修等について各会の実績はありますか？（佐賀会）
まとめ	筆界調査員の集合研修としては行えないが、研修を行ってるブロック協議会の意見を参考に今後の動向を検討していきたい。
提案理由	筆界特定登記官より、調査員の集合研修や情報交換はしていないのかとの話があり、必要性を感じたため。
福岡会	毎年1月に法務局主催の研修会が実施されている。
佐賀会	筆界調査員の質を保つため及び、全体研修会の講師として育成したいため今後集合研修の開催を検討したい。
長崎会	制度発足当初の平成18年から20年頃に行った実績があります。筆界調査委員、筆界特定登記官らで事例の研究を行いました。その後は行われたとの情報は得ていません。その理由として筆界調査委員が法務局の管轄下にあること（調査士会は推薦を行うことのみ）があげられると思います。法務局や筆界調査委員からの要望があるのか無いのかを今後聞き取り対応する必要があると思います。
大分会	11月8日の13時から大分地方法務局にて筆界調査委員研修会が開催されます。調査委員の代表による事例研究の発表や、筆界特定登記官から意見書や調査票等の作成についての研修

	が行われる予定です。
熊本会	社会事業部が年1回筆界調査員向けの研修を行っています。また、法務局の筆界特定登記官と年2回協議を行っています。
宮崎会	法務局が講師をして研修をしたことはあります。今後は筆界調査員だけを対象とはしないが希望者を募って境界鑑定講座を10回くらいする予定です。これは5年に一度くらいの割合です。
鹿児島会	実績はありませんが、年3回程行われる筆界特定室とADRとの連携協議会において筆界特定室からの意見として、調査員及び筆界特定代理人の調査士に対して意見書作成のスキルアップ（公文書作成の勉強）を求められているので、調査員に限らず全会員対象の公文書作成のための研修をしたいと考えています。
沖縄会	平成28年9月5日法務局主催の筆界特定事件の処理方針に関する事務打合せ会を開催されました。

《協議事項》

5	研修会のテーマの選定はどのように決めているか（鹿児島会）
まとめ	各会苦慮している。
提案理由	研修会への参加状況が思わしくない。実務に直結しないと思われる内容のコマになると退席者が目立つ。
福岡会	研修部にて外部・内部講師リスト等を参考に協議し常任・理事会において審議している。
佐賀会	理事会等の会議の際に提案を求めているが良案が出ないため、主に業務部と合同部会（5名）を開いて決めている。 連合会の外部講師・内部講師リスト、連合会の研究所などを参考にしている。 先日おこなった会員へのアンケート結果を参考にしている。（参考として結果を添付します。佐賀会資料①-1、①-2） 実務に直結しないときの出席率は良くないと思うが、無益な研修会を行っているわけではなく会員各自の向上心に期待する。 任期2年間のなかで、倫理・懲戒に関することと調査測量実施要領に関することは研修していきたい。 そのほか各会の研修会を参考にしたい。
長崎会	研修会のテーマは業務部研修部合同部会で決めています。研修内容（法令、技術、マナー、その他）に偏りがないようにしています。県会以外で行われている様々な研修会へ出向き講師の先生や企画された関係者と積極的に交流して視野を広げることが大切だと思います。そのために予算内での計画的な派遣を行うようにしています。
大分会	研修部会及び常任理事会により、その時の状況やCPDの単位取得のバランスに注意しながら選定しています。
熊本会	研修会のテーマは業務研修部で決めています。県外の研修会で興味ある場合部員を派遣するようにしています。

宮崎会	その時々タイムリーなテーマ、必要なテーマを役員会で決定したり、会長、副会長、講師経験のある会員からの意見を主に取り入れて決定している。
鹿児島会	研修部のみでなく理事会、公嘱協会と協同して検討する。
沖縄会	研修会のテーマの選定については当会も毎回苦慮しています。業務部と合同部会を開いて選定しています。又研修会毎にアンケートを行っているので参考にしています。連合会の外部講師、内部講師リストを参考にしています。

《協議事項》

6	連合会CPD情報公開に伴う県会CPDデータの移行について（鹿児島会）
まとめ	鹿児島会、宮崎会以外は連合会のシステム移行は済み。
提案理由	鹿児島会は今年度の移行はできない。理由として移行作業に相当のマンパワーが必要で予算組みがしていない。また現在のCPDは研修内容で分類されていない。カードリーダーで研修内容を分類するにはコマごとの読み取りが必要でまず不可能と思われる。
福岡会	福岡会はCPDデータの移行は完了している。
佐賀会	会場入り口にてCPD記入票を配布し、氏名・会員登録番号・入退出の時間・感想、要望等を記入し退出時に提出してもらっている。事務局職員が集計し管理している。
長崎会	CPDポイント管理の移行は済んでいます。長崎会では九州ブロックの意見を参考にして昨年度バーコード読み取りのプログラムを会員が開発し、それを利用しています。事務局職員がその作業にあたっていますが、特に問題になるようなことは無いようです。
大分会	連合会のホームページでCPD情報の公開が6月12日から公開が開始されました。入力事務局職員が行っています。
熊本会	会場でCPD記入票を配布し、退出時に提出してもらっています。事務局職員が集計し管理している。
宮崎会	事務局で管理保管はしているが、CPDデータの移行は準備中であります。
鹿児島会	今後も現行のカードリーダーを利用したシステムで進めていく。
沖縄会	研修会の資料と一緒にCPD記入票を配布し、会員個人で記入を行い退出時に提出してもらっている。集計については事務局職員が行っている。

《協議事項》

7	各会で最近おこなった研修で、ためになった研修、人気のあった研修、評判のよかった講師などおしえてほしい（熊本会）
まとめ	各会と連携が必要と感じました。
提案理由	研修内容をもっと充実したものとしたいため

福岡会	特段人気があった、評判のよかったは感じていません。
佐賀会	『筆界特定について』『法定相続情報証明制度について』（佐賀地方法務局登記官） 『登記申請書式と93条調査書』（当会役員） などの実務に直結するものに関心が高いようです。
長崎会	マナー関係：松澤萬紀先生、近藤正行先生（愛知会） セキュリティ関係：マイクロトレンド ADR関係：入江秀晃先生（九州大学）
大分会	「大分における筆界の誕生と公図の読解 -筆界の現地における位置を解明し説明するための基礎知識-」 当会の境界鑑定委員会が編集・作成している冊子「大分県の地籍」の発行に先だって、その内容の一部を全体研修会で研究報告を行いました。
熊本会	会員の満足できるような研修内容の選定に苦労しています。外部講師にも依頼していますが、当たりはずれが大きい。ちなみに熊本会の今年度の一番評価の高かった講義は、消防局講師の【もしものときのために覚えてほしい救急対応】です
宮崎会	『相続について』和田清人先生（大阪会）で相続専門FP（ファイナンシャルプランナー）として税の軽減特例 や土地の有効活用 などが好評でした。
鹿児島会	「境界紛争の本質と境界問題解決制度の活用」の評価が高かったようです。講師の京都産業大学草鹿晋一教授草加晋一先生には今年度鹿児島会の学術顧問に就いて頂きました。
沖縄会	日常業務についてテーマを決めて、約10名のグループディスカッションを行い、実務体験、業務の処理方法について討論し、研修最後にグループとしての報告を行った。調査士各々の業務の処理方法が学べて好評でした。

《協議事項》

8	研修内容の情報共有の方法を具体的に考えてほしい（熊本会）
まとめ	研修インフォメーションを活用する。次回担当者会同で各会で実施した研修内容の評判を発表してもらう。
提案理由	去年も協議案に上がっているが、活発に活用されていないようにおもわれるため
福岡会	研修動画を貸出しています。原則無料ですが、有料だった研修会については同額の参加料（当研修会に参加した者は除く）を徴収しています。
佐賀会	昨年までは研修会の日程、内容、研修資料をサイボウズに上げていましたが、昨年度の第3回研修会の内容決定が遅れたこともありサイボウズにあげる事ができませんでした。今回の担当者会同を機に活用したいと思います。
長崎会	県会内での共有については、過去の研修動画や資料をいつでもどこでも会員が見ることができるようにWEBサイト上で管理しています。
大分会	情報共有の場ができれば、参加したいと思います。
熊本会	メーリングリストがあると聞いていますが活用したことがありません。

宮崎会	他県の研修内容をサイボウズで見たことはありますが、今後上げて行こうと思います。
鹿児島会	特に行っていませんがHPに上げるなど検討すべきと考えます。
沖縄会	年度初めに研修会の日程を決めて、全会員に当会の年間スケジュール表を通知して周知しています。 研修会の資料を、当会ホームページにある会員の広場において公開しています。

《協議事項》

9	CPDポイントの活用方法（熊本会）
まとめ	CPDポイントを連合会が将来的に活用する可能性があれば3形態分類などで入力を簡素化するなどして管理していきたい。 連合会CPD移行などについても検討していきたい。
提案理由	これも長年協議案に上がっているが、有効な活用方法がない。 CPDのポイント管理が各会負担になっていないでしょうか 将来的にも利用できないようであれば、CPDポイントの廃止を九州ブロックとして提案できないだろうか
福岡会	CPDポイントについては同意が取れている会員をHP上で公開しています。 活用はされていません。
佐賀会	活用は出来ていない。 HP掲載準備中。 無料相談会の相談員に対しCPDポイント付与、法務局・公嘱協会主催の研修会参加者へCPDポイント付与するようにしている。 支部研修会へのCPDポイント付与が出来ることを理事・支部長合同会議で告知しており会員に対する研修会出席を促す事のみ利用している。 当会は120名足らずの会員数であり、60~70%の出席率のため事務処理の負担にはなっていないようです。
長崎会	CPD（専門職能継続学習）は専門資格者として当然行われるべきものであると理解しています。数値化する作業は過度な負担にならないように簡略化できる箇所は対応するようにしていますので、ポイント管理の廃止については考えていません。数値化したデータの活用の問題は今後とも検討を続けたいと思います。
大分会	CPD制度の趣旨にあるように、会員の継続的な自己研鑽の取り組みの指標であり、その指標の管理をしているのが、研修部の事業と思っています。こちらから活用させるものではなく、公開によって社会的評価をするための情報を、国民に与える場だと思っています。 ただ、CPDに関して連合会から、新たに説明が欲しいとは思っています。
熊本会	現在CPDポイントは管理しているだけで、活用していません
宮崎会	CPDポイントは事務教で現在管理しておりホームページ公開に向けて準備中であります。
鹿児島会	HP上で公開しています。
沖縄会	当会ホームページの会員名簿のコーナーにおいて公開しています。

	年間及び何ヶ年における、CPDポイントの目標数値の設定を検討したい。
--	------------------------------------

《協議事項》

10	過去行った研修会のテーマ、今後予定しているテーマ（宮崎会）
まとめ	日々変化する社会情勢に合った研修テーマ、研修インフォメーションの活用など各県の工夫が見られた。
提案理由	毎回、研修テーマに苦慮している。他県の業務に関する問題点など参考にしたい。
福岡会	<p>本年度、第1回全体研修会（実施済）</p> <p>1) 測量の基準と誤差論について（当会会員）</p> <p>2) 震災後の測量について</p> <p>第2回全体研修会（実施済）</p> <p>1) 調査測量実施要領に則した測量（当会会員）</p> <p>2) オンライン申請・法定相続情報証明制度（福岡法務局様）</p> <p>第3回全体研修会（実施予定）</p> <p>1) 調査測量実施要領に則したサイクルタイムについて（当会会員）</p> <p>2) 土地家屋調査士を取り巻く諸情勢及び今後の展望について（愛知会会員様）</p> <p>3) 情報公開システムについて</p>
佐賀会	<p>次回、調測要領・業務報酬積算根拠について公嘱協会との合同研修を予定している。</p> <p>次々回、県内の空家等対策協議会の状況について検討している。</p> <p>H29年度第1回研修会（85名+他県より2名）</p> <p>(1) 『筆界特定について』</p> <p>(2) 『法定相続情報証明制度について』</p> <p>(3) 『オンライン登記申請促進について』</p> <p>講師：佐賀地方法務局様より</p> <p>(4) 『オンライン登記申請手続きについて』</p> <p>講師：株式会社ビービーシー様より</p> <p>(過去の研修の一覧を添付します。佐賀会<a href="#">資料②</a>)</p>
長崎会	<p>コンピュータセキュリティ、測量技術（基準点・現況・GPS）、グランドデザイン、オンライン申請（添付書類・XML 図面）、個人情報保護法、災害時の復興支援（建築物、宅地、罹災証明、保険）、GIS、3Dモデリング、UAV、SfM、日常のマナー、税務（固定資産評価）、所有者不明土地や空き家住宅、ライセンス分類、OSM、調査報告書、業務受委託契約、クライシスマッピング、共同作業におけるデータの共有、受託業務の積算と報酬、諸外国における地籍の動向、調査士業務開拓…他多数考えていますが、年間に行える研修には限りがあるためどのメニューの組み合わせが良いか検討に苦慮しています。</p>
大分会	<p>第1回全体研修会</p> <p>1) 懲戒事例について</p> <p>2) 境界鑑定委員会研究報告 前編</p> <p>第2回全体研修会（11月18日）</p>

	<p>1) 戸籍の見方と相続手続きー法定相続情報証明制度の申出人としての基礎知識ー</p> <p>2) 境界鑑定委員会研究報告 本編</p> <p>第3回全体研修会 (2月予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ADR関係、表示登記実務協議会の解説を予定</li> </ul> <p>支部研修会 (本部主導分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護法</li> </ul> <p>研修インフォメーションも参考にしています。</p>
熊本会	<p>平成29年度第1回研修会</p> <p>「もしもの時のために、覚えてほしい救急対応」</p> <p>「法定相続情報証明制度について」</p> <p>「土地家屋調査士の今後の業務展開の方向性について」</p> <p>平成29年度第2回研修会</p> <p>「基礎からの戸籍の見方・相続手続き」</p> <p>「トータルステーションの観測誤差原因の検証実験等」</p> <p>次回の研修は公嘱境界より「報酬計算」社会事業部より「民事紛争について」を予定しています。</p>
宮崎会	<p>平成29年度第1回全体研修会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「相続について」</li> <li>2) 「法定相続証明制度について」</li> </ol> <p>第2回全体研修会 (11月1日予定)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「個人情報保護法について」</li> <li>2) 「調査士に必要な民法」</li> </ol> <p>第3回全体研修会 (1月予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所有者不明土地問題等を予定</li> </ul>
鹿児島会	<p>平成29年度第1回研修会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「押さえておきたい相続実務～不動産登記を中心に～」</li> <li>2. 「リプロ環境事業と未来型情報杭について」</li> <li>3. 「職業賠償責任保険と事故事例について」</li> </ol> <p>(予定) 第2回研修会</p> <p>「所有者所在不明土地問題を考える」</p>
沖縄会	<p>法務局登記官による「法定相続情報証明制度」、「筆界特定申請の現状」と題して講師依頼を行った。</p>

《協議事項》

11	ADR認定調査士に対する研修はどのようにしているか (宮崎会)
まとめ	各会ともセンター取り扱い件数としては少ないが、境界紛争における解決能力を身につけるためにも継続的に研修会を実施することが重要と考える。
提案理由	特別研修を受け認定を受けたものの、活用機会がなく勉強したことを忘れないための方策は？

福岡会	実施していません。
佐賀会	研修実績はありません。今回の会議により必要性を検討したいと思います。
長崎会	センターながさきは県会全会員が関与するようにシステム設計しています。センターながさきと研修部の合同で毎年一回はADRに関する有料研修か全体研修の中の一コマに組み入れるようにしています。認定調査士のみを対象とした研修の企画は行っていません。
大分会	ADR認定調査士に関する研修は、社会事業部が担当しています。
熊本会	社会事業部が年1回開催しています。
宮崎会	次回研修で弁護士による研修を予定しています。教材は認定講義の際に利用したものを使用します。今後も民法をからめた研修をする予定です。
鹿児島会	認定調査士に限った研修はありませんが、希望者を募り鹿児島大学司法政策研修センターのロイヤリングセミナーに参加し調停のロールプレイを行うなど貴重な体験ができました。
沖縄会	ADR認定調査士の研修を開催したことはありません。 全体研修において、「取得時効とADR」と題して研修を行った。

《協議事項》

12	他会において実施されている研修会（全体研修会・有料研修会）の有料配信について協議ください。（福岡会）
まとめ	動画については、単位会の会員向けであり配信については消極的である。今後必要に応じ検討する。
提案理由	他会よりご案内がある研修会について動画により受講できないか会員より要望があります。
福岡会	他会のHPに公開してある動画を視聴することができないでしょうか。
佐賀会	<p>昨年の会同で話題になりましたが、福岡会のWeb研修を配信してもらえたら、是非ともお願いしたい。受講方法としては、当会の会館会議室で15名程度の希望者に対しての有料研修を想定しています。</p> <p>当会で行う研修会のライブラリ動画は他会会員への貸出しは想定していませんでした。</p> <p>講師から頂く承諾書の書式について検討します。</p> <p>承諾書の様式と動画貸出し申込書の様式を参考に添付します。佐賀会資料③-1、③-2</p> <p>必要とあらば講師から頂く承諾書の書式について検討します。</p> <p>また、動画の視聴に伴うCPDポイントの付与は予定していません。</p> <p>HPで動画を公開する目処は立っていません（予算の都合上）。</p>
長崎会	<p>これまで有料、無料を問わず、他会へ配信することは検討されていません。①他会からの要望又は②会員から他会の研修聴講の要望があれば検討してみたいと思います。</p> <p>①の場合は、先行して配信いただければ当会会員へ連絡するように努めます。</p>
大分会	他会への配信は検討していません。
熊本会	他会への配信は検討していません、今後検討したいと思います。



宮崎会	宮崎会は動画撮影、Webシステムを行ってないため、他会への配信は検討しておりません。
鹿児島会	他会への配信は検討していません。しかし、各会の研修内容は非常にためになるものが多く相互に配信できるのであれば当会も是非検討したいと思います。
沖縄会	当会はWebシステムを構築してないが、費用の問題、設備の問題、検討事項は多々ありますが検討したい。

《協議事項》

13	研修会に開催に関して講師・内容について大変苦慮しております。他会においてどのように検討し、決定されているのかお伺いしたい。(福岡会)
まとめ	日調連の研修ライブラリー等参考にし、また他会における研修内容を参考に検討していく。
提案理由	研修会に開催に関して講師・内容について大変苦慮しております。
福岡会	研修部会において内部・外部講師表よりテーマ・講師を選任。又、当会会員・当会学術顧問をお願いしているところです。
佐賀会	理事会等の会議の際に提案を求めているが良案が出ないため、主に業務部と合同部会(5名)を開いて決めている。 連合会の外部講師・内部講師リスト、連合会の研究所などを参考にしている。 先日おこなった会員へのアンケート結果を参考にしている。
長崎会	コンピュータセキュリティ、測量技術(基準点・現況・GPS)、グランドデザイン、オンライン申請(添付書類・XML図面)、個人情報保護法、災害時の復興支援(建築物、宅地、罹災証明、保険)、GIS、3Dモデリング、UAV、SfM、日常のマナー、税務(固定資産評価)、所有者不明土地や空き家住宅、ライセンス分類、OSM、調査報告書、業務受委託契約、クライスマッピング、共同作業におけるデータの共有、受託業務の積算と報酬、諸外国における地籍の動向、調査士業務開拓…他多数考えていますが、年間に行える研修には限りがあるためどのメニューの組み合わせが良いか検討に苦慮しています。
大分会	研修部会で連合会の講師リストを参考にしたり、常任理事会において各担当部長にお願いしたりしています。
熊本会	業務研修部において講師・内容を決めている。会員へのアンケート結果を参考にしている。
宮崎会	その時々タイムリーなテーマ、必要なテーマを役員会で決定したり、会長、副会長、講師経験のある会員からの意見を主に取り入れて決定している。
鹿児島会	研修部のみならず常任理事会にて検討しています。また学術顧問、鹿児島大学司法政策研修センターからの意見も参考にしています。
沖縄会	研修部及び業務部を中心に検討。研修会毎に研修内容についてアンケートを実施。

《協議事項》

14	補助者研修の実施について(沖縄会)
----	-------------------

まとめ	会として開催すべきか又有料で行うべきか検討事項はありますが、開催する方向で進めたい。
提案理由	本職と補助者の業務分掌
福岡会	補助者研修会を実施している。現在規定（資料）を見直し中。
佐賀会	昨年度の第2回全体研修会時に懲戒処分事例集を用いた研修を企画し補助者を同席させるよう促しました。補助者のみを対象とした研修会は行っていません。
長崎会	昨年度、補助者のみを対象とした研修会を実施しました。通常の全体研修会では、本職の同行を条件に補助者の参加を認めています。当会補助者規則第11条に補助者研修についての条項があります。
大分会	現在行っていませんが、当会でも規則がある以上必要と思っています。
熊本会	本年度より青年会と共催で実施する予定です。
宮崎会	補助者研修は実施しておりません。補助者を雇用している調査士に委託し、支部研修等の積極的参加を促している。
鹿児島会	実施していませんがその必要性は感じています。
沖縄会	当会は補助者研修を開催したことがありません。 調査士業における、本職及び補助者の業務分掌の確認等を他会が研修として行っているのか又、行った研修内容をご教示お願いします。

《協議事項》

15	日常業務における実務の研修（沖縄会）
まとめ	調査士各々の業務処理方法が学ぶことができ、地域性等を含めて支部単位で研修テーマを与えて、全体研修において報告する研修を開催したい。
提案理由	約10名で単位のグループを作り、日常業務における処理方法、実務体験等のディスカッションを行う。
福岡会	全体研修会において調測等取り上げ研修を実施している。
佐賀会	昨年度の第3回研修会で『登記申請書及び93条調査報告書記載例』の研修をしましたが前半で当会役員より実例解説をし、後半にその場で机を前後し8名から10名のグループを作って自由討論をしました。
長崎会	良い試みだと思います。10名程度であれば意見も活発に出るのでしょうか。全体研修会では採用しづらい点もあろうかと思いますが、支部ごと等で年間を通じて行われてもいいと思います。進行やその効果等の詳細をお聞きしたいです。
大分会	支部研修会で行っているところがあります。事例等を話し合っレクチャーしあったりしています。地域の特性や処理の方法なども話しあっています。
熊本会	青年会で月1回事例検討会を開いています。

宮崎会	宮崎会として研修は行っていません。全体研修や各支部の研修が情報交換の場だと考えます。
鹿児島会	支部単位を巡回して測量技術の研修を検討しています。ベテラン調査士のノウハウや便利グッズなどの情報交換ができればと思います。
沖縄会	以前の研修において約 10 名のグループを作り、日常業務おける議案をだして調査士各々の業務の処理方法、実務体験等をグループディスカッション方式で行い、研修の最後にその内容をまとめてグループとしての報告を行いました。 調査士各々の業務の処理方法を学ぶことができ好評だったので、他会においてそのような研修を行っているのか又、行った中で好評な議案をご教示お願いします。

《協議事項》

16	日常業務における実務（地図の取扱い・基準点等）（沖縄会）
まとめ	地域性もあり全体研修で作業方法等の統一は難しいが、先輩調査士との連携、グループ研修において検討したい。
提案理由	国土調査完了地区で地籍図（原図）から現在のデジタル地図を法務局で作製しましたが筆界線が一致しない箇所が多々あります。各会においてマイラー原図の閲覧、また研修会等で指導しているかご教示お願いします。 日本測地系から世界測地系への変革に伴い国土調査時の測量結果と、同じ地点の近年の測量結果を比較すると「ずれ」が生じます。各会において「ずれ」についての研修会等を開催しているか、また開催している会がありましたら資料等の提供よろしくをお願いします。
福岡会	法務局の地図がデジタル化され収縮があり話題になりますがこれと対応はしていません。全体研修会において震災後の測量について研修を実施しています。
佐賀会	佐賀県内では14条地図（国調・区画整理・土地改良換地）の整備が佐賀市の中心街を除きほぼ終わっています。 国調の早い地区で昭和40年代の地図があり、当会の会員は原図をトレースするか原図の写しを請求する方法により地図を読み取っています。 法務局がデジタル化した当初に、所謂デジタル地図は原図と比べたときに精度が劣る事や誤りがある場合があることが周知されたと記憶しています。 資料を用いて研修したかは分かりません。 コインコピー機が法務局に備え付けられていたときには原図を自由にコピーできていたため、コインコピー機が廃止されて以来その復活を望む声があります。 日本測地系を変換した座標とGPS測量した座標のズレ（一定方向へシフト）については世界測地系へ代わるときに研修があったと思いますが、現在は各自が旧座標の基準点等をGPSで測量するなどして判断していると思います。 今回の会議により研修の必要性を検討したいと思います。
長崎会	県会が会員に対しマイラー原図を閲覧するように指導していることはありません。ケースによってはそこまでする必要があると先輩方から伝えられていることはあります。 パラメーターに伴う研修は昨年の熊本地震の際に出されたPatchの研修会を行いました。「地殻変動」としてのパラメーターのPatchの問題であり「ずれ」の部分の問題ではありません

	でした。
大分会	指導は行っていません。地域差もあると思いますが、新人研修では国土調査の復元方法も含めて必要性は感じています。
熊本会	県会が会員に対しマイラー原図を閲覧するように指導していることはありません。現在のところ、熊本県内においては、マイラー化において生じるズレか地震によるズレなのか判断がつかないところも多いため、今のところ検討中です。
宮崎会	県会としては行っていません。各支部に任せている状況です。「ずれ」の問題は各自で現場判断されているようです。毎回の研修が日常業務の研修だと考えます。
鹿児島会	マイラー原図のトレースを指導されたことはありません。しかし必要に応じては市町村税務課保管の地籍図（ケント紙）をトレースすべきと先輩から教わったことがあります。ただ現在はほとんど閲覧出来なくなっています。
沖縄会	調査士業務における作業方法の統一化等の研修は行ってないが、他会について作業方法の統一化について研修を行っているのか又、その研修内容をご教示お願いします。

《協議事項》

17	土地家屋調査士専門職能継続学習 認定基準表の自己申告分の対応について（大分会）
まとめ	CPDの煩雑さを見直しをして管理運営の効率化が図れるように会長会議や連合会で検討してもらいたい。
提案理由	認定基準表は平成23年4月1日から適応されていますが、当会では会員からの自己申告がなく、周知自体が不十分ではと思っています。他県会での対応方法や付与の判断等をご教示願います。
福岡会	回答があった会員について事務局にて対応しています。
佐賀会	会員からの自己申告分としては、法務局の主催する講演会及び公嘱協会の主催する研修会のほか、隣接専門士業団等から案内があり本会で把握できるものについてCPDを付与するようにしています。また、無料相談員に対しポイントを付与するようにしています。そのほか支部研修会については理事・支部長合同会議等の折にCPD申告をするよう周知しています。今回の会議により自己申告について会員への周知を検討したいと思います。
長崎会	ポイントについては、自己申告が基本にならざるをえないのだと思います。長崎会でも最近では他会等の研修会受講の申請を促すような案内はしていないので、定期的に案内すべきとも思います。連合会のCPDを管理しているサイトにその旨の一文を入れていただくのもいいかと思います。
大分会	日調連のホームページにてCPDポイントが公開されたことを受け、全会員に対しメールにて認定基準表と申告書とQ&A等を送りました。
熊本会	他県の調査士会や他士業からの連絡、通知があればポイントをつけるようにしています。
宮崎会	他会の研修等に参加した場合は報告書の提出によりポイントを付与しています。自己申告がなければ把握しようがありませんが、今後は周知したいと思います。

鹿児島会	支部研修会や無料相談員などについては各支部で申告しております。それ以外は自己申告に基づいているところですが、会員への周知を検討したいと思います。
沖縄会	自己申告となっているが、認定基準表等の会員への周知、CPDポイントの活用も含めて検討したい。

《協議事項》

18	全体研修会の資料（レジュメ）について（大分会）
まとめ	意見交換ができました。
提案理由	当会では、研修会資料を出席者に無料配布していますが、経費削減のため当会でもホームページやメール等でデータ配布の方法を取りたいと思っております。他県会での配布の方法や問題点及びメリット、資料の購入者の人数等を参考にしたいのでご教示願います。
福岡会	基本はHPにてデータ配布。メイン会場（1）・サブ会場（2）・支部会場（7～8）にて実施しているがメイン・サブ会場に来られる会員のみ有料配布（500円） 希望者は少ない。支部会場で有料配布を希望される会員がいるがお断りしている。
佐賀会	メールで配布し各自が印刷するか電子データとして持参する（対応できない方のために事務局で印刷したものを数部準備し無料で提供している） データの容量が大きいたきは分割して送信しています。
長崎会	長崎会ではWEBサイトに資料を置いています。紙資料希望者へは有料で対応しています。問題点は特別ありません。紙資料希望者は概ね数%程度ですが、資料の枚数が多いと事前にわかる場合は希望者が多くなる傾向があります。基本は500円/人に対応しています。
大分会	研修会資料のデータ配信に関するアンケートの回答では、データの配布に対応できない会員や現状維持を望む声もありますが、データ配布の方法に切り替えたいと思っております。
熊本会	基本各自熊本会のHP上からダウンロードして研修会に参加してもらうようにしています。研修会当日に資料を望まれる方には500円徴収しています。
宮崎会	宮崎会では、研修会資料は原則として出席者に無料配布しています。資料が多いときには資料代を徴収することもあります。
鹿児島会	資料はメールにて配信し各自印刷またはPC・タブレット等で対応しています。希望者は当日有償配布（500円）していますがほとんどないようです。メール配信になった時もほとんど苦情らしいものはなかったと聞いています。
沖縄会	当会では出席者に対して無料配布を行っているが、用紙のロス等も含めて検討したい。

《協議事項》

19	研修インフォメーションの対応について（大分会）
まとめ	今後各会に対応し、九州ブロックとして充実させていくことを確認した。
提案理由	次回から対応していきたいと思っております。他県会での対応や入力する際の注意点等ありましたらご教示願います。

福岡会	事務局にて対応しています。
佐賀会	次回から対応したいと思います。
長崎会	漏れもありますが、対応済みです。事務局で対応しています。
大分会	対応できていません。 次回の全体研修会から入力したいと思っています。
熊本会	対応できていません。次回から対応したいと思います。
宮崎会	対応できていません。今後検討したいと思います。 研修インフォメーションを詳しく教えてください。
鹿児島会	対応できていません。次回から対応したいと思います。
沖縄会	当会も対応していませんが、今後検討したい。

《協議事項》

20	研修会欠席者への対応について（佐賀会）
まとめ	各会の意見対応を基に対処していきたい。
提案理由	平成26年度末の注意文の発送後、数名より以後の研修会へは出席するよう努力する旨の電話が事務局にありましたが、改善が見られない会員への指導について参考にするため各会の状況をお聞かせいただきたい。
福岡会	研修会の出席率の悪い会員については総務部の方で事務所訪問を実施している。
佐賀会	平成26年度末に注意文を送り注意喚起を行っていましたが、平成29年3月に2回目の注意文を郵送しました。また、出席率の悪い会員に対し毎年注意文を出す事にしました（年度末に当年のCPD研修会ポイントの取得率が30%未満を対象）。 <a href="#">佐賀会資料④</a>
長崎会	5年間受講していない会員に担当副会長、研修部長名で文書を送付しています。直後の研修会出席はしているものの、継続出席はされない場合があるようです。
大分会	2年間研修会に参加していない会員にたいして、会長名で書面の発送をしています。
熊本会	一年間一度も研修に参加しない会員には会長名で文書を送付しています。
宮崎会	連続2回以上欠席会員には会長名で注意文書送付するようにしている。
鹿児島会	
沖縄会	欠席の多い会員に対しては、理事、支部長等を通して参加を促している。長期欠席者については本会に呼び出し三役で対応している。

《協議事項》

21	境界鑑定についての研修・研究等について（佐賀会）
まとめ	各会の実績を参考に業務部と協議したい。
提案理由	当会では業務部の事業計画項目になっていますが、各会の状況についてお聞かせいただき研修・研究の参考にしたい。
福岡会	専門研修会を実施し（希望者のみ）研修している。
佐賀会	当会の境界鑑定委員会については依頼等がなく実働していません。 当会では業務部の事業計画項目になっていますが、各会の状況についてお聞かせいただき研修・研究の参考にしたい。
長崎会	境界鑑定委員会が独自に有料研修会を開催することが多かったのですが、数年前から全体研修会の中に境界鑑定に関する講座を取り入れて行うこともあります。
大分会	当会の境界鑑定委員会は業務部の担当です。 27年度から「大分の地籍」という冊子作りをしています。第2回全体研修会でその冊子を会員に配布し、その内容の講習をしてもらう予定です。第1回全体研修会でも前編として大分の筆界の成立ちの講義してもらいました。冊子の作成については大分地方法務局・大分県立先哲史料館・大分県公文書館・各市役所や調査士が所有していた資料などを使用して研究及び作成しているようです。
熊本会	数年前までは境界鑑定委員会がありましたが、現在はありません。今後境界鑑定関連の研修も行いたいと思っています。
宮崎会	今後は希望者を募って有料研修の境界鑑定講座を10回くらいする予定です。これは5年に一度くらいの割合です。予定です。
鹿児島会	
沖縄会	筆界特定調査員の任期が来年1月となっているので、境界鑑定委員会主催による筆界特定調査員を対象とした研修会を開催予定。